

# 令和2年度 各部・年次等の目標と実践項目

【評価】 4:よくできた 3:できた 2:あまりできなかった 1:できなかった

部署	主な業務	本年度の目標	目標達成に向けた実践項目	番号	数値目標	中間評価(各部署内)		年度末評価					次年度に向けて	
						評価	改善に向けて	全体	部署内	4	3	2		1
総務 国際	行事検討 防災 校内美化・整備 「入学のしおり」作成	学校内外の教育環境の整備	1 行事の抜本的な見直し	T	各学期1回以上	3.5	コロナ対応優先。コロナ対応も参考に行事を見直す	3.0	3.5	11	8	11	0	・行事等について、効果的・抜本的な改革には至らなかったが、積極的に見直す雰囲気が出てきて前進した部分はある。 ・校内美化の意識を高める仕組・努力・指導を継続していきたい。 ・国際交流は新たな取組等、効果的に取り組んでいきたい。
			2 「日常清掃」からの校内美化活動の推進	L		3.0	さらに推進する	3.2	3.8	13	22	2	1	
	本校生の短期語学研修運営 留学生との交流	さまざまな場を通じた異文化理解	3 西オーストラリア大学短期語学研修への参加を促すとともに留学生の受け入れを奨励する	G	研修参加生徒5名		現状では実施不可能	2.0	2.0	2	4	12	9	
			4 English Dayの実施や国内で可能な英語研修を充実させる	G	1年次生・2年次生対象に実施		2学期以降に実施予定	2.9	3.3	11	10	7	4	
教務	教育課程編成 教員の指導力向上 校務支援システム運用 「シラバス」作成	教育課程編成	1 45回生新教育課程の編成	S	年5回実施	2.0	5回実施し、教育課程の形は整えられた。各科目の内容が未確定な部分もあり引き続き検討を続ける。	3.2	3.2	13	15	5	1	・5回の教育課程委員で教育課程の形は整えられたが、各科目の内容が未確定な部分もあり引き続き検討を続ける。 ・自習をOにはできなかったが、時間割変更が可能であれば積極的に行い、ある程度自習を回避できた。次年度も引き続き努力したい。
			2 時間割変更により自習を減らす	S	自習をOに近づける	3.5	自習Oにはできなかったが時間割変更できるものについては自習回避の対応ができた。	3.5	3.2	21	12	3	0	
保健・生徒指導	生活指導・交通安全指導 「くすのき」での周知 いじめ防止・対応 生徒会活動の充実 部活動活性化	規範意識の向上と安定した学校生活への援助	1 登下校の交通マナーへの指導	P	安全指導学各期1回、事故件数0	3.0	日々の登校指導は充実し、適宜地域からの苦情にも対応している	3.1	3.7	13	17	8	1	・安心・安全の教育活動を充実させるため、教職員間の意思疎通を図り、生徒・保護者から信頼される指導を心がける。 ・昨年度と同様、新型コロナウイルス感染に対する予防指導を徹底する。また、生徒の内面を重視した教育相談の整備を図り、保健環境を充実させる。
			2 「いじめ問題」への適切な対応	L	アンケート毎月1回 いじめ件数0 教員研修会2回	3.0	休校間のアンケートは実施できなかったが、適切に対応できた	3.1	3.7	12	18	5	2	
	3 応急処置 健康相談 衛生環境整備 「保健だより」 カウンセリング関係運営	生徒への教育相談の充実	L	的確な感染症に関する情報提供と指導の充実	3.0	保健だよりの発行等で感染症対策について全生徒への注意喚起はできている	3.4	3.7	17	20	1	1		
ガイダンス 進路	進路情報提供 進路研修(教員) 進路講演会等運営 社会人基礎力育成 「進路通信」発行 「ガイダンスブック」発行	年次団と連携した進路実現のための効果的な進路指導体制の確立	1 3年次生徒の大学入学共通テスト(新テスト)や今年度入試への不安や焦りに対する適切なケアと、それに対応する教員向け研修会や検討会の実施	M	随時 研修会・検討会は年5回	3	生徒講演会や、「Classi」等の職員研修会など、計画通りに実施できた	3.4	3.8	15	17	1	1	・変化の激しい「大学入試制度」に対し、「Classi」等を有効に活用して、最新の情報をスピーディーに生徒・保護者に提供し、不安を解消していく。 ・新しい学力観と入試に必要な能力である「主体性」「多様性」「協働性」に対応した、きめ細かい指導の充実を図る。
			2 進路通信を発行し、生徒・保護者への情報提供や進路意識の向上に努めるとともに、高校生就労体験事業を通じて社会人としての資質・能力を育成する	L	進路通信:年10回 就労体験事業:生徒の満足度80%以上	3.5	「Classi」で保護者・生徒に進路通信を配信し、またクラス掲示コーナーを作り、進路通信や進学情報など積極的に配布している	3.4	3.5	15	17	1	1	
図書 人権	蔵書の整理・拡充 朗読会等行事企画・運営 「学校図書館だより(NORTHLIBRARY)」発行 読書感想文コンクールへの出品 市立図書館との連携	図書委員会を活性化し、開かれた図書館となることで読書活動を推進する	1 図書委員を中心に、朗読会やビブリオバトル校内大会を実施し、生徒の読書活動を推進する	S	朗読会:1回 ビブリオバトル:2回		2学期以降に実施予定	3.7	3.7	27	10	1	0	・生徒主体の活動を継続し、来年度さらに多くの生徒が活用したい図書室作りを目指す。図書室前ピロティを生徒の活動発表の場等に有効利用していく。 ・職員対象の人権研修会や人権映画鑑賞会を企画することにより、様々な分野における人権意識の向上を図りたい。
			2 「NORTHLIBRARY」・「新刊図書案内」のHP掲載や本のPOP作成等を通じて、図書館を魅力的に宣伝する	S	新刊図書案内8回発行	3.0	6・7月号発行。図書委員によるPOP作成。図書室前ピロティも有効活用していく	3.5	3.7	23	12	1	1	
	人権HRにおける人権教育の充実 人権教育研修会(教員)等企画・運営	豊かな人間性を育てる	3 人権HRや人権映画会の内容を充実させ、計画的に実施	P	人権HR:年2回 人権映画会:1回	3.0	人権HRは3年次は実施済み、1・2年次は2学期に実施予定。人権映画はコロナ感染対策をして2学期に実施予定	3.4	3.7	20	15	2	1	
			4 全教員対象に人権教育群研修会を実施する	T	年1回	3.0	1/3の教員は実施済み、残りは2学期に実施予定	3.4	3.7	19	13	1	2	

## 「番号」(S~T)の学校経営方針とその内容

- S: 「生きる力」を育み、生徒一人ひとりの能力を最大限伸ばす「学び」の場の構築**  
 ア 「知識・技能」の確実な習得と活用を目指し、わかる喜びを大切にしたいきめ細やかな指導  
 イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の促進  
 ウ 多様な価値観を持つ人々と「協働して主体的に学びに向かう態度」を涵養するための授業づくり  
 エ 情報収集力や感性を養うための読書活動を支える学校図書館の活性化と情報活用能力の育成
- M: 変化の激しい社会の中で、主体的に人生を切り拓き、生涯にわたって挑戦し続ける人材の育成**  
 ア 職場体験活動・大学研究等を通じて将来の生き方や働き方を見つめるキャリア教育の推進  
 イ 多様な他者の考えや立場を理解し、他者と協力・協働して社会に貢献しようとする意識の涵養  
 ウ 政治的教養を高め、社会に主体的に関わろうとする意欲・態度の育成
- G: 国際的視野で思考・判断し、世界に雄飛する人材の育成**  
 ア 外国語を用いたふれあいや対話、討論の機会による豊かな語学力やチャレンジ精神の育成  
 イ 留学生の招致や生徒の海外留学を通じた異文化理解・日本文化の紹介  
 ウ 将来、国際社会で活躍・貢献する意欲・態度の育成を目指したオーストラリア短期語学研修の実施

- P: 思いやりの心と規範意識を持ち、共生社会の実現を目指す人間性豊かな人材の育成**  
 ア 自己をかけたがえのない価値ある存在として受け止める自尊感情の涵養  
 イ 自他の個性・人権を尊重し、よりよい人間関係を形成しようとする豊かな集団づくり  
 ウ 自らの命を守り、緊急時に主体的に行動できる人材の育成
- L: 地域と連携した安心・安全な学校づくりと学校評価の推進**  
 ア 学校全体による情報共有と協働して課題解決に向かう組織づくり  
 イ 家庭・地域・中学校等への積極的な情報発信と連携した教育活動の展開  
 ウ 学校評価の検証と学校改善による組織の活性化の推進
- T: 教職員の資質向上**  
 ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた計画的な職員研修の実施  
 イ 各部・各委員会・各年次及び各教科の目標とその成果と課題の明確化  
 ウ 教職員の心身の健康と適正な勤務時間の維持により意欲を持って職務に取り組める職場環境づくり

【評価】 4:よくできた 3:できた 2:あまりできなかった 1:できなかった

部署	主な業務	本年度の目標	目標達成に向けた実践項目		番号	数値目標	中間評価(各部署長)		年度末評価					次年度に向けて	
							評価	改善に向けて	全体	部署内	4	3	2		1
募集広報	オープンスクール、オープン・ハイスクール運営 学校説明会訪問 「学校案内」作成 「加古北タイムス」発行 学校HP刷新	募集活動と広報活動の充実を図り、受験者数のアップと学校の魅力作りを図る	1	積極的な学校説明会(塾・予備校含む)への参加	L	年間12回以上	2.0	新型コロナウイルス感染症により説明会が開かれなかったため、2学期以降に実施予定	3.2	2.3	10	11	4	1	・今年度ほぼ実施出来なかった中学校訪問や学校説明会の回数を更に増やし、募集活動の充実と広報活動を推し進め受験者数のアップを是非とも図っていききたい。
			2	「加古北タイムス」の発行 学校HPのリアルタイムな更新	L	年間12回以上 年間220回以上	3.0	学校HPの更新、「加古北タイムス」発行など、2学期以降も内容を充実させていきたい	3.5	4.0	23	12	0	2	
1年次	学習・進路 進路情報提供 面談(二者・三者)	主体的に人生を切り拓き、生涯にわたって挑戦し続ける人材の育成	1	可能性を広げ、主体的に挑戦し続けるために、様々なコンテストに積極的に参加する	M	3回以上/年	4.0	休校がない期間に、アイデアを出し取り組む	3.4	3.7	17	12	2	1	・次年度も積極的に取り組んでいきたい。
	生活等 基本的な生活習慣の確立 いじめ防止・対応	思いやりの心と規範意識を持つ人間性豊かな人材の育成	2	時を守り、場を清め、礼を正す	P	学期に1回、実践項目のアンケートを実施。5段階で平均4.0以上	3.0	教室に掲示し、促す	3.1	3.2	6	22	2	0	・より良い学校生活を送るために、環境を整えていく。
2年次	学習・進路 週末課題・小テスト実施 面談(二者・三者)	学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善とよめ細やかな指導の充実	1	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む	S	計画的な研究授業や研究協議を実施する。学期に1回以上	1.0	2学期には実施予定	3.1	2.7	8	17	1	2	・生徒の能力・適性、興味・関心や将来の進路希望等に基づき、保護者との連携のもと、大学等の特色の把握に努め、生徒・保護者への積極的な情報提供を行う等、個に応じたガイダンス機能を充実させたい。
			2	生徒の生活実態や学習状況等を把握し、習熟の程度に応じた指導により、知識・技能の定着を図る	S	Classiを活用し、平日に家庭学習2時間以上記録。クラスで7割以上達成	2.5	各クラスで呼びかける	3.0	2.3	8	13	3	3	
	生活等 基本的な生活週間確立 いじめ防止・対応	自他の個性を尊重し、よりよい人間関係を形成しようとする集団をつくる	3	挨拶や身だしなみ、時間厳守等、マナーやルールを尊重するよう、年次集会で促す	P	学期に1回以上実施	3.0	1学期は2回実施できたので、2学期も2回以上実施したい	3.0	2.8	3	21	2	1	・保護者、キャンパスカウンセラー等と連携し、生徒の日常生活における変化に気を配り、悩みを積極的に受け止める教育相談体制を充実させたい。
			4	学校行事や部活動、生徒会活動に積極的に参加できる生徒を育てる	P	年次行事を年1回以上開催する	1.5	2学期には実施予定	3.4	3.7	14	12	1	1	
3年次	学習・進路 予習・復習徹底 小テスト実施 朝読書 面談(二者・三者)	進路実現に向けた学力の向上と進路選択の支援	1	授業での集中力を高め、学びを充実させるために小テストを実施する	S	各自8割以上の習得	3.0	7割程度にとどまっていると思われる	3.2	2.9	10	16	3	1	・生徒のニーズにあった教科・進路指導が必要な時期にきている。すべての生徒に網をかける方法から、課題の精選をし、課題内容の質の向上を目指す方向へと転換すべきではないか。生徒の自主性を育てていく方向への転換時期の見定めが大切である。3年次を担当し、入試研究を行った成果の引き継ぎ、蓄積も必要である。自信がない生徒が多いので、メンタルをケアするための継続的な取り組みが必要である。
			2	補習等に積極的に参加し、進路実現に必要な学力を獲得する	S	進学希望者の6割以上の受講	4.0	7割を超える受講者がほぼ休まず受講していた	3.1	2.8	8	19	2	1	
			3	進路集会、面談、朝読書を通し、進路の明確化、進路実現の達成	M	朝読書20回、面談年間3回以上実施	3.0	明確な者が増えてきた反面、まだ明確ではない、曖昧な者も見られる	3.3	3.2	13	13	0	2	
	生活等 3点固定生活に向けた指導・助言 面談(二者・三者) 朝読書(気づきを行動に結びつける)	互いを認め合い、高め合い最後まで頑張れる集団の育成	4	お互いに高め合える人間関係を構築させる	P	気づきを行動に結びつけられる生徒6割以上	3.0	気づきを行動に結びつけられている者が増えてきた	3.0	2.9	6	19	4	1	
			5	主体的な生き方・考え方を醸成する	M	気づきを行動に結びつけられる生徒6割以上	3.0	気づきを行動に結びつけられている者が増えてきた	3.0	3.0	6	19	5	0	
事務室	電話・来客等の応対 事務等の事務処理 予算の管理・執行 施設、物品等の維持管理	相手の立場に立った応対や経費節減に努め、適切な物品・施設管理を行う	1	受付窓口、電話での迅速で気持ちの良い応対	L	電話口3コールまでの対応	3.0	事務室は学校の窓口でもあるので、今後とも一層対応していきたい	3.5	3.4	17	14	0	1	・今後も学校の窓口としての自覚を持ち、迅速かつ気持ちの良い対応に努める。また、その時々に応じた適切な節減にも取り組んでいく。
			2	光熱水費の適切な節減	L	デマンド数値90kW以下	3.0	新型コロナウイルス感染拡大の関係で喚起を行いながらの空調機使用である。電気デマンド数値が90kW以上の見込みの場合は、職員に電気使用の削減への協力を要請する	3.2	2.6	13	15	5	0	
			3	敷地内の危険箇所等の把握と迅速な対応	L		3.0	今後も危険箇所等の把握と迅速な対応をしていく	3.0	2.8	9	16	6	1	
学校全体として		主体的に人生を切り拓き、生涯にわたって挑戦し続ける人材の育成	1	他者と協働する中で生徒の主体的・意欲的な学びを目指した学校行事の活性化	S	体育大会等各行事における生徒の満足度80%以上			3.1		9	24	4	0	・「学校評価アンケート」(対生徒)における「本校の行事や部活動についての満足度」について、回答者の79.3%が肯定的評価(大変そうだ、まあそうだ)をしており、生徒は一定の満足感を得られたと考える。 ・地域との交流が殆どできなかった。次年度は実施可能な取組を考えたい。 ・今年度から始めた「Intercultural Day」を含め、国際感覚を育成する取組を、積極的に行う。
			2	地域との関わりや福祉施設への訪問、手伝い、交流を通じた自己有用感の育成	P	年2回以上			2.6		4	11	16	1	
			3	インターナショナルディ等を通じた国際感覚の育成	G					2.5		4	11	13	